

健やかな成長をサポートするために

子どもたちの良き友、良き理解者です 青少年相談員

現在県内では、知事や市町村長から委嘱を受けた約4,300人の青少年相談員が、青少年の健全育成のために活動しています。昭和38年の発足以来、子どもたちの良き理解者であり、気軽に話しのできる地域社会の大人としての役割を担っています。旭市では各区から推薦された112人が活動。青少年相談員の年齢は25～45歳までで、青年期の子を育てる親に近い年齢層で構成されています。

青少年相談員はこの名称から、子どもたちからいろいろな相談を受ける相談相手のように受け取られがちですが、実際は地域や市の行事などにおいて、積極的に子どもたちに関わり、子どもたちの健全な育成を図ることを目的として活動をしています。

【主な活動】

- チャレンジ通学合宿(旭市通学合宿)

子どもたちが、親元を離れて学校に通いながら2泊3日の集団生活をするることにより、自主性や協調性を養うとともに、自分と家族との関係を見つめる機会となるよう開催しています。青少年相談員は、夜間の見守りや体験教室など、通学合宿の運営に協力し、子どもたちの健やかな成長



通学合宿では子どもたちと一緒に工作体験



ドッジボールの審判を行う青少年相談員

をサポートしています。

【その他の活動】

- ティーボール交流大会
- 少年少女ドッジボール大会
- 防犯パトロール

千葉県の青少年相談員活動

- 千葉県青少年相談員発足50周年記念大会

かずさアカデミアホール(木更津市)で8月31日、県内の青少年相談員約1,000人が参加して開催されました。当日は、青少年相談員の50年間の活動についてのパネルディスカッションや、マラソン監督の小出義雄氏による基調講演が行われました。

- レッツダンスインちば2015

千葉ポートアリーナ(千葉市)で平成27年1月18日、県内の子どもたちが一堂に会し、青少年相談員と一緒にダンスなどで交流を図るイベントが開催されます。

※くわしい内容は、生涯学習課社会教育班(☎55-5727)まで問い合わせてください。

校長リレーエッセイ

5



健康と体力

海上中学校長
石毛 重和

健康は自身がけがや病気をして初めてそのありがたさに気付くものです。私は学生時代に競技スポーツによるけがと故障から数年の間、後遺症に悩まされたことがあります。その苦い体験から、回復後は運動できる楽しさと健康への関心がより一層高まりました。

現代では、子どもたちの健康維持増進のために必要な体力の低下が懸念されています。運動する子、しない子

の二極化もあります。学校では、健全で健康な体づくりを目指すための保健学習や体育学習の充実は欠かせません。部活動もその一端を担っています。

最近の体育研究校の実践データがあります。授業内容の充実はもちろん、多様なトレーニング、チェック表を用いた運動と生活の自己管理など、その取り組み効果は体力向上だけでなく、生活習慣などにも好影響があるということです。本校も過去数回、体力向上の体育研究校として歩んできた歴史があります。その流れが引き継がれ、今でも運動することを好む活動的な生徒が多く、健康で明るく生活する姿が見られます。社会環境や生活様式が大きく変化する中、子どもたちには、健康的で活動的な生活をデザインし、その幅を広げながら運動やスポーツに親しむことを生涯化してほしいと思っています。

私は体に負の痕跡を蓄積しないよう、食・睡眠・運動など、生活の在り方を再点検し、自身の体力向上策に取り組み、健康と共に歩んでいきたいと思っています。